

## 2012 新春の集い 開催！

1月5日（木）金沢市内A N Aクラウンプラザホテルにおいて、連合石川・石川労福協合同の「2012 新春の集い」を約250名の参加により開催した。

船塚連合石川副事務局長の司会で開会され、主催者を代表して狩山連合石川会長・石川労福協理事長の2012年へかける決意の挨拶の後、来賓として谷本正憲石川県知事、磯部隆文石川労働局長、市長会を代表して山野之義金沢市長、金原博民主党県連代表代行、盛本芳久社民党県連代表の皆さんから挨拶を受け、連合石川西田副会長が乾杯を行った。

続いて、北尾強也連合石川法曹団代表、田中美絵子衆議院議員、近藤和也衆議院議員が挨拶



を行い、石川県経営者協会竹中専務理事や連合石川名誉顧問並びに顧問、連合石川推薦県・市・町議会議員のご来賓の皆さんの紹介が行われた。

アトラクションには、「M4」エムフォーの4人のオルガン・ギター・トランペット・ドラムのメンバーによるジャズが開会時と宴の途中に演奏され会場を盛り上げた。

宮下石川労福協専務理事による閉会の挨拶のあと、「団結がんばろう」を狩山会長・理事長による発声のもと力強く行われ「2012 新春の集い」を終了した。



# 狩山会長 年頭あいさつ

新年あけましておめでとうございます。新年を迎え、2012年が皆様にとって安らかで実り多い年となるようお祈り申し上げます。

去年は、未曾有の大災害となった東日本大震災があり、その復旧・復興に向けた取り組みの一年間となりました。震災発生から10カ月が経過し、被災地は徐々に立ち直りつつあるかに見えます。しかし、本当の復興・再生にむけた歩みはこれからです。被災地は厳しい冬を迎えています。雇用と生活の再建を急がねばなりません。「雇用の再生なくして復興なし」です、延長されてきた雇用保険の給付も今月以降、終了する人が多く出てくると想定されます。被災者の生活再建は喫緊の課題であり、政府や自治体・全ての心ある皆さんの支援が必要です。連合石川として、構成組織の皆様と連携し引き続き被災地支援の行動を行います。ご協力をお願いします。

一方、私どもの住んでいる日本社会は今、持続可能性を脅かす構造問題と直面しています。

経済の低迷が20年続き、デフレからの脱却ができない中で、格差社会は深刻化し、貧困層は増大、ワーキングプアとよばれる年収200万円以下の者は1,000万人を超えています。生活保護世帯・受給者は増加を続けており、148万世帯、205万人となるなど貧困・格差問題は、いよいよ深刻になっています。



加えて、少子高齢化の急速な進行です。先進国の中で類を見ないスピードで進むとともに、出生率の低下により人口減少に歯止めがかからなくなっています。これまで、わが国の経済・社会の発展を支えてきた労働力の供給構造にも大きな変化が起きて始めています。このまま推移すれば、生産年齢人口が今後10年間で800万人以上減少し、高齢化を支えるはずの労働力人口も確実に減少するとみられ、経済の縮小とともに社会保障制度の維持も危機的な状況に陥ることが予測されます。

これらの状況から脱するためには、これまでの「勝てばいい」「儲かればいい」との価値観を転換し、新しい日本の社会像を創り上げみんなで力を合わせる必要があります。

私ども連合は、目指すべき社会像として「働くことを軸とする安心社会」の実現を提唱しています。

働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件の

もと多様な働き方を通じて、社会に参加し、社会的にも経済的にも自立し、相互に支え合い、人と人とのつながりを強めていく。まさに「絆」を大切にする社会です。

格差を拡大固定化させず、普通に働いて安定した生活が享受できる社会を取り戻すため、各界各層の皆様と連携し、実現に向け最大限の取り組みを行います。

さて、年頭にあたり、当面の取り組みについて4点提起します。

一つは、2012春季生活闘争についてです。

私たちは、東日本大震災からの復旧・復興の取り組みの中で、一人ひとりが切り離され孤立するのではなく、つながり、支え合う中でこそ力が発揮できることを学びました。このことを2012春季生活闘争に置き換えるならば「すべての働く者の処遇改善」の取り組みに全力を挙げるのではないかと考えます。

改めて、すべての構成組織、単組、職場で具体的な要求を掲げ交渉を強力に展開していただくよう要請いたします。当然、それぞれの産業・企業・職場実態、雇用構造には違いがあり、一律的な方針や要求はむしろ難しいのかもしれませんが、自分たちの産業・企業・職場とその周りで働く仲間の処遇や環境の改善に向けて、すべての連合加盟組織が一斉に取組ことは、今日的に大きな意義があり、連合労働運動の社会的使命でもあります。

具体的方針は、今後の討論集会や地方委員会で議論・決定することとしますが、連合石川として、石川県の相場を自らの力で確立し、それを全体に波及させる「すべての働く者の処遇改善」を実現する3年目の取組みとして成功させるため全力を傾注することとします。

二つは、政治活動についてです。

日本の再生に向けて政策が担うべき役割が重要です。しかし、政策は遅々として進んでいません。何もきめられない政治に、いらだちを感じざるをえません。政府・与党は一致結束して、真摯に野党との協議を行い、国民の不安を払拭し、社会を安定させ、経済を回復していくための政策を着実に実行していくことを期待します。

しかし、現実の政治状況は日々緊迫しており、昨今の情勢ではいつ解散があっても可笑しくないくらいの状況だと認識します。政治の安定を期待しつつも、次の闘いに備えることが今必要だと判断します。

連合石川として、引き続き現職を推薦するのかどうかを含め早急に論議したいと思えます。推薦そして行動するためには、組合員も含めた政策論議・検討が必要です。今後開催予定の政策論議に参加していただき、積極的な論議・提言をお願いします。

三つは、組織拡大についてです。

今、労働現場ではトラブルが増加しています。労働トラブル防止の為に、「労働組合」の存在が不可欠です。

この数年間、労働相談活動や街頭宣伝等社会的アピールにより、労働組合に対する期待や必要性は認知されてきています。全ての働く者と手を繋ぐために、立ち上がらねばなりません。まずは、自分の組織の中に働いている仲間の組織化に全組織が取り組むこと。その上で、関連組織・関連業界の各企業の組織化について、連合石川とともに取り組むことをお願いします。

組織化は、一朝一夕で成果が上がる取組みではありません。高い志と強い意志そして一歩踏み出す勇気が必要です。全組織で気持ちを合わせ全力で取り組むことをお願いします。

四点目は、労働者福祉運動と地域活動の推進です

連合石川は、非正規労働者に対する対応等、労働運動の枠外にいる仲間たちへの取組みや、労働者自主福祉のネットワークの中で、労働運動が自ら作り上げた労働金庫や全労済、労福協など、労働者福祉事業団体との連携を強めながら、地域に顔の見える運動を展開してき

ました。

共同の力による助け合い「共助」の取り組みは重要です。私ども働く者を取り巻く課題は多くあります。勤労者・県民の生活防衛・維持・向上に向けて、石川労福協の果たす役割は重要です。全ての働く者と退職者・高齢者との連携を図り、労働者自主福祉活動の充実、生涯福祉の向上を目指し、労福協を構成する各事業団体の皆さんと連携し、「暮らしの総合サポートセンター」として地域社会に貢献することを目指すこととします。

また、地域社会の構成員の一員として、地域における政策要望を吸い上げ自治体と連携し町づくりの活動を推進していきたいと考えます。連合組合員の中には地域で活動している人が多くいます。その皆さんと地域で連携することで政策提案により深みが増すと確信します。

地域における雇用・活性化をめざし政策提案・実現の取り組みを強化していきます。

最後に、すべての人にディーセント・ワークを保障する社会「働くことを軸とする安心社会」実現に向け果敢に挑戦していくこととします。今年も変わらぬ皆様のご協力をお願いします、新年の挨拶とします。



# 「共に生きていける社会の実現」 3福祉団体へチャリティー収益金送る！

連合は、6月8日（水）に開催したメーデー協賛チャリティーゴルフ大会の際の収益金と事務局役職員のカンパなどを、2011年12月19日・21日に福祉施設へ寄付をした。

寄付先は、この間支援している3団体で、狩山久弥連合石川

会長と浅野正事務局長が訪問し施設を視察するとともに寄付金を手渡した。

各施設ともに厳しい運営の中であるが「共に生きていける社会の実現」に向け熱意を持って取り組んでいる姿勢が印象的であり、連合石川として、今後も支援していくこととする。「コスモス」からのお礼状が届きましたので、紹介いたします。

『毎年寄付金を届けていただきありがとうございます。皆と一緒よに大切に大切にに使わせていただきます。あたたかなづ

レゼントを、ほんとうにありがとうございました。』

- コスモス  
(知的障害者授産施設)  
金沢市宝町 8-1
- ひまわり教室  
(心身障害児通園事業)  
金沢市十一屋町 4-34
- ゆいパッチワーク  
(心身障害者小規模作業所)  
金沢市土清水 3-242



### 連合石川の主な日程

- 2月1日～3日  
10:00～20:00  
全国一斉なんでも相談ダイヤル
- 2月7日(火) 13:30～  
連合石川第38回地方委員会
- 2月22日(水) 14:30～  
第4回執行委員会

## ほしい車を手にいれるために… 〈ろうきん〉があなたのカーライフを応援します！

無担保 ろうきん自動車ローン

「くるま自慢」キャンペーン実施中

実施期間 2011年9月1日～2012年4月30日

キャンペーン  
最優遇金利

変動 年 **1.90%** ～ 年 **2.60%**  
キャンペーン  
基準金利

◆ご融資額 最高500万円 ◆ご返済期間 最長10年  
◆ご返済方法 毎月返済または、毎月返済・ボーナス返済の併用  
※保証料年0.5%または年1.4%が別途必要です。  
※2011年10月1日現在適用中。  
※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

燃費がいい、ほしい！  
エコカーがほしい！



子供が生まれて、  
ワンボックスの大型車がほしい！



詳しくは、最寄りの〈ろうきん〉にお問い合わせください。

# 連合石川第2回執行委員会開催

12月22日午後2時30分から金沢スカイホテル会議室で34名が参加し第2回執行委員会が開催された。

冒頭12月12日に故人となった荒島元会長に対し黙祷を捧げ、続いて、狩山会長が大会方針に基づき「7万人連合石川」を目指して本気で取り組んでいく。各構成組織で再雇用や非正規労働者、未加入者などの組織化を図り、組織率や組織人員の向上を目指していく。連合石川としても構成組織の皆さんとともに汗をかいて行く。

2011年秋季年末闘争の妥結結果は昨年を上回るいい状況である。しかし超円高や欧州の経済悪化、タイの洪水影響など不安材料が多く景気の悪化が予想される。本日第1回の中小共闘センター会議が開催され、春季生活闘争に向けての議論が開始さ



れた。今後幅広く議論していく。と挨拶した。

続いて、浅野事務局長から報告事項について提案があり承認された。その後、協議事項について各担当から提案があり方針どおり決定された。第38回地方委員会での資格審査・議事運営委員に役員からの選出をフード連合東執行委員が当日欠席の為、調整して他の執行委員に任命することを確認した。

意見として高教組田村執行委員から、今年度の公務員の確定闘争で非常勤職員への無給ではあるものの育児休暇が認められ、組合員で雇用が繋がったのお礼の意見が出された。

エネルギー政策に関する連合本部で行われているPTの会議結果概要を執行委員に後日送付することを確認し終了した。

## 連合石川第38回地方委員会

日時

2012年2月7日(火)  
13:30~

場所

石川県勤労者福祉文化会館  
(フレンドパーク石川2F ホール)

# 石川県集会 2012 国際女性デー

演題:「DVに苦しんだ30年、今、パパジャングルの活動へ」

講演:荒巻 仁(NPO法人パパジャングル理事長)

荒巻 仁さんプロフィール

1970年生まれ。3児の父。

30年間父親の暴力に苦しんだ過去があり、その経験から、「父子笑伝」「笑育」をスローガンに、父親が子育てに関わることの大切さ、子どもの気持ちを理解することの大切さを伝えている。唯一無二の学童クラブ「子どもジャングル」の経営や被災地の子ども支援など、子どもの心に寄り添う支援が特徴。みんなが笑顔でいられる社会を目指して活躍中。

22年度「よみうり子育て応援団大賞奨励賞」

23年度福井県あしたの暮らし・まちづくり活動賞奨励賞  
第5回未来を築く子育てプロジェクト未来賞



日時: 2012年3月8日(木) 18:05~20:00

場所: 労済会館3階大ホール

金沢市西念1丁目12番22号 TEL:076-268-2010



## 会場ご案内



「国際女性デー」とは

1907年3月8日にニューヨークで女性が「パンをよこせ!」「女性に参政権を!」と政治的自由と平等・独立を要求して立ち上がった日を記念して、「国際女性デー」が定められました。

それから100年を超える歴史を重ねながら、「女性の人権デー」として今日に受け継がれています。石川県では、1948年から、「国際女性デー」の趣旨を活かしながら、真の男女平等参画社会の実現に向けて毎年集会を開催しています。

\*パンと薔薇は女性デーの象徴です。

## 2012国際女性デー石川県集会実行委員会